

令和5年度 第1号



本尊木造薬師如来座像 (国分寺市)

武蔵国分寺の本尊木造薬師如来座像は、平安時代の作とされる。作者不明。木彫寄木造によるそのお姿は、像高約1.95メートル、膝開き約1.4メートルにもなる。当時、表面には金箔が施されていたが、現在は金箔の多くが剥がれ黒漆の部分呈している。木造薬師如来坐像は大正3年4月17日に国宝に指定、現武蔵国分寺の本尊として薬師堂(現在は国指定重要文化財)に安置されている。

毎年10月10日の御開帳法要で、年一回の一般公開。
所在地：国分寺市西元町1-13-16 武蔵国分寺

■ 目次 ■

巻頭言
立川支部に着任して……………(1)

令和5年度
北多摩東地区保護司会定期総会の開催……………(2)

北多摩東地区保護司会役員……………(2)

新会長・新分区長挨拶……………(3)

地域別定例研修……………(4)

BBS会……………(4)

社会を明るくする運動……………(5)

ふんくトピックス……………(6)

更生保護女性会活動報告……………(7)

桐友会だより……………(7)

四市の「大地の恵み」……………(8)

退任・新任保護司紹介……………(8)

編集後記……………(8)



立川支部に着任して
東京保護観察所立川支部長 土公 千鶴

本年4月1日付けで立川支部長として着任し、気がつけば、もうすぐ半年になるうとしています。立川支部での勤務は今回が初めてで、まだまだ勉強不足な点はたくさんありますが、以前、この近くに住んでいたことから、立川支部周辺は私にとって非常に懐かしい場所であり、この地で勤務できることを大変嬉しく思いながら、また、関係する皆様のご支援により、楽しく日々の業務に取り組みさせていただいております。

さて、皆様すでにご存じのとおり、改正更生保護法の施行期日が近づいております。この改正により、刑事手続の入口段階から出口段階、そして刑事手続終了後の地域社会における自立に至るまでの処遇をシームレスにつなぎ、対象者一人一人に「息の長い支援」を確保して、より確実にその再犯防止を図っていくことが求められています。保護司の皆様におかれましては、保護観察期間中は直接対象者を指導いただく処遇活動を通して、また、保護観察期間終了後は地域での見守りや受入れの土壌づくりでもある地域活動を通して、すでにご支援いただいているところではございますが、改めて法改正の趣旨を踏まえ、更生保護活動の意義に思いを寄せていただければと思います。

最後になりますが、支部長としての勤務は初めてで至らぬ点多いことと思いますが、皆様に北多摩東地区のことをいろいろ教えていただきながら、武蔵野市、三鷹市、小金井市、国分寺市の更生保護に少しでもお役に立てるよう努力してまいりますので、引き続きご支援ご協力のほど、くれぐれもよろしくお願い申し上げます。

令和5年度 北多摩東地区保護司会 定期総会の開催

北多摩東地区保護司会総会が、令和5年4月26日武蔵野スイングビル・レインボーサロンで開催されました。

総会は会員58名来賓11名、各市事務局9名の出席がありました。

小山茂会長より、保護司会活動に対する御礼や、ご支援をいただいている来賓の方々への感謝の言葉があり、東京保護観察所立川支部、土公千鶴支部長からご挨拶をいただきました。

総会の進行は、小川和男総務部長により、議長は峯岸桂一保護司(国分寺)、副議長には霜鳥



文美恵保護司(小金井)、書記は木下彪斗氏(国分寺市役所)を選出し議事に入りました。

令和4年度活動報告を松村



久子副会長より、収支決算書を三橋優子会計理事が報告しました。

続いて監査結果を、田中良人監事が報告しました。

役員改選では、総務部長より役員案が提示され、新会長には望月加奈子保護司(武蔵野)が選任され、新会長より新理事の紹介及び新体制に向けた挨拶がありました。

その後、小山茂前会長より退任の挨拶がありました。次に望月加奈子会長より、令



和5年度活動計画(案)及び三橋優子会計理事より収支予算(案)の説明があり、全会一致で全ての議

案は原案通り承認されました。

続いて来賓の伊藤英穂武蔵野副市長、河村孝三鷹市長、神山伸一小金井副市長、内藤達也国分寺副市長、四市市議会代表土屋けんいち三鷹市議会議長よりご祝辞をいただきました。

その後、五十嵐京子副会長より来賓のご紹介がありました。最後に池谷敏子副会長より閉会の挨拶で総会は終了しました。

(総務部 磯野 茂)

北多摩東地区保護司会役員

任期…令和5年定期総会(4月)

(令和7年(4月))

役職	氏名	分区名
会長	望月加奈子	(武蔵野)
副会長	高橋 豊	(武蔵野)
副会長	須藤 正敏	(三鷹)
副会長	五十嵐京子	(小金井)
副会長	和地 誠一	(国分寺)
会計理事	三橋 優子	(三鷹)
会計理事	田中 勉	(小金井)
理事	立川八重子	(武蔵野)
理事	小野山達久	(武蔵野)
理事	大野寿美子	(三鷹)
理事	霜鳥文美恵	(小金井)
理事	田中久美子	(国分寺)
理事	宮崎 邦子	(国分寺)
監事	大澤 正男	(小金井)
監事	戸倉 央江	(国分寺)
総務部長	村雲 祐一	(武蔵野)
研修部長	林 博行	(国分寺)
地域活動部長	宇田川正浩	(三鷹)
広報部長	山本 雄一	(小金井)

(注)副会長は分区長を兼務



新会長挨拶

保護司会について

北多摩東地区保護司会



会長 望月加奈子
この4月より
会長となりました。

摩東は第7ブロック保護司組織運営連絡協議会の当番地区となっており、ご協力よろしくお願いたします。

また武蔵野市より無償で借りしているサポートセンターですが、更女、桐友会、BBSとの会議を行うなど、関係機関との連携を深める場としても考えていきたいと思っております。皆様のご意見等、お寄せください。
さて、更生保護6月号にありますように、保護司会はフラットで自由に意見交換のできる場でありたいと思っております。微力ながら努めていきますので、どうぞよろしくお願いたします。

新分区長挨拶

武蔵野分区



武蔵野分区長 高橋 豊
私ども武蔵野
分区は、23名で
活動しております。
私は、いま

まで地域活動ならびに総務部に所属し、総務部では副部長として企画などのお手伝いをしてまいりました。当分区も今年度よりサポートセンターが開設され、担当保護司による情報交換をしております。これからも、風通しの良い、明るく、楽しく、元気に活動ができる保護司会を目指してまいります。

三鷹分区



三鷹分区長 須藤 正敏
三鷹分区長に
なりました須藤
正敏です。

北多摩東保護
区の四市の皆様のご協力で、更生
保護活動や社会を明るくし住み良
い地域づくりに頑張る所存です。
2020年の新型コロナウイルス感染

拡大の緊急事態宣言発令以来、弱体化してしまった保護司活動の再興を図りたいと考えています。保護司相互の情報共有や親睦に努めてまいりたいと考えています。

更生保護女性会、BBS、桐友会の皆様や各種友好団体との交流を深め、更には、地元自治体との親密な連携で、非行や犯罪のない住みよい社会作りに微力ながら貢献したいと考えています。

最後に、今期中に私を含めて4名の保護司が定年を迎えます。若い元氣な保護司の発掘にも、三鷹分区みんなで頑張る所存です。

小金井分区



小金井分区長 五十嵐京子
早いもので、
保護司を拝命し
て19年になりま
す。いつの間

か分区の中で年数は最長組になってしまいました。この間、多くの先輩の方々に教えていただき、良いお付き合いをさせていただき、とても感謝しております。少しでもお返しになるよう次世代に繋げることがを念頭に努めさせていただきます。

保護司を取り巻く環境も少しずつ変化をしていることを感じます。女性も働く人が増えており、なり手不足、活動に参加する時間がない、面接する場所の確保の問題等々の課題があります。そして、対象者になる若い人たちの雰囲気

が変わってきたことも感じます。時代と共に社会や生活環境や価値観が変わるわけですから、いつまでも同じままということはないでしょうが、変わることに、変わってはいけないうことを見極めていく必要があります。まずは、コロナ感染症でできなかった活動を復活し、コロナ前の活気を取り戻す努力をしていきたいと思っております。

国分寺分区



国分寺分区長 和地 誠一
本年度4月よ
り国分寺分区長
を務めさせてい
ただくことにな
りました。

私が保護司の委嘱を受けた頃は環境調整や保護観察の件数も今より多く、すぐにケースを担当し、定例会や管外研修の際に先輩保護

司に相談し助言を受けたことを思
い出します。

しかし、現在は保護観察の件数
も減少し、保護司の役割も処遇活
動より保護司会活動の比重が多く
なり、社明運動や再犯防止のため
の啓発活動が重要になってきまし
た。

昨年度まではコロナ禍により事
業や活動が自粛や中止になりました
が、今年度は感染を予防しつつ
以前のような活動ができるよう
なってきました。

保護司同士で意見交換しながら
参加しやすい環境づくりを検討し
保護司会活動を充実させていき
たいと思っています。皆さまのご指
導ご協力をよろしくお願いいたし
ます。

前任者の皆様

**北多摩東地区保護司会に
尽力いただきありがとうございます
ございました。**

- 前会長 小山 茂様
- 前武蔵野分区長 宮下みさ子様
- 前三鷹分区長 松村 久子様
- 前小金井分区長 千本木勘博様
- 前国分寺分区長 池谷 敏子様

地域別定期研修

令和5年度 第1期地域別定期研修
研修テーマ
「生活環境の調整について」



第1期地域
別定期研修が
6月20日国分
寺市本町・南
町地域セン
ターで、7月
3日武蔵野プ
レイスで開催
されました。
「生活環境
の調整を充実

させ、できる限り仮釈放の保護観
察に繋げることが再犯防止に資す
ることがデータでも明らかになっ
ている」ことから今回研修が開催
されました。

研修では、主任官から、生活環
境の調整の進め方のポイントなど
具体的な説明が行われた後、グ
ループに分かれて事例研究を行
いました。

事例は、①特殊詐欺、同居でき
ない引受人②覚醒剤取締法違反
(二部猶予)、引受人は生活保護③

窃盗(少年院在院中)で、各グルー
プではそれぞれの経験を交えなが
ら熱心な意見交換が行われました。
最後のまとめで主任官から、そ
れぞれの事例の調整のポイントの
説明があり、引受人の意思を確認
して引受人が自ら判断する事が大
事であるとのアドバイスがありま
した。

(研修資料は、東京保護観察5
月号別冊を使用)

(研修部 高橋 榮治)



北多摩東BBSSA会

会長 前田みのり

長らくコロナ禍でBBSSA会
も通常の活動が行えない状況の
中、昨年末からは少しずつ活動
を再開できるようになりまし
た。

昨年12月には更生保護施設で
のクリスマス会に参加。今年の
春には、女子少年院、更生保護
施設への施設見学、そして職員
の方から様々なお話をお聞き



し、これまで
の自身の中で
のイメージと
実際との違い
など、多くの
学びがありま
した。

また、今年
は新会員の方
が多く入会
し、新緑まつ

りでの刑務作業製品販売のお手
伝い、駅前広報活動などに参加
しました。そして長らく実施で
きていなかった学習会を月に一
度のペースで開催できるように
なりました。不登校、少年非行
をテーマに扱い、事例の検討で
は積極的なディスカッションも
行われました。

BBSSA会では今後、月に一
度の学習会、ひまわりコンサー
トにおける活動紹介、保護司の
方との交流会、広報活動、児童
養護施設での学習ボランティア
など実施の予定です。活動のお
話をいただけたご縁、そして学
びを大切に活動していけたらと
考えております。

第73回

社会を明るくする運動

「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」

武蔵野分区



武蔵野市では、今年「社会を明るくする運動」が行われる場所が7か所あります。その一つが、4年ぶりに境南ふれあい広場公園で開催された境南盆踊りです。

会場の一角に「社会を明るくする運動」の旗を掲げ、ポスターを掲示し、啓発品のぬりえやうちわ、ティッシュ、パンフレット等を配布しました。夕方になっても気温が下がらず、お祭りも久しぶりでしたが、来場者は徐々に増え、瞬く間に啓発品、特にうちわはなくなり、子どもたちにはぬりえが人気でした。夏祭りが復活し、市民の方々も元気を取り戻した様子。私たち保護司も祭りを通して、手渡しで啓発品を渡すことができ、とても良い時間となりました。

(宮下みさ子)

三鷹分区



7月15日(土)、16日(日)市役所で三鷹商工まつりがあり刑務作業製品の販売をしました。初日は曇りでしたが暑い中たくさんの方で賑わっていました。

2日目は猛暑となりましたが大勢の来場者で大盛況でした。まつり全体の来場者は約2万5千人、昨年の2万人を大きく上回りました。用意した刑務作業製品は順調な販売状況で、2日目、13時30分には完売となりました。特に人気があったのは横須賀刑務所の「ブルースティック」という固形石鹸です。この石鹸は昨年も大人気でした。また、来場者には、うちわ、ぬりえ、ティッシュ等を差し上げ、社明活動につなげました。

(高麗 静男)

小金井分区

7月22日(土)、23日(日)に武蔵小金井駅において「第45回小金井阿波おどり」が開催されました。多くの観客が見守るなか、市外からの参加を含む延べ14連が参加し、小金井分区では、7月22日(土)の午後5時から6時まで「竹うちわ」1,000本を配布し広報活動を行いました。小金井分区長をはじめ各関係団体の方々が、たすきをかけ、通られる方に声をかけながら竹うちわを配ることができました。厳しい暑さも手伝って、多くの方に受け取っていただきました。



国分寺分区



ひまわり迷路の完成 7月10日(月)午前8時30分に保護司会をはじめ社会を明るくする運動推進委員の総勢8名(事務局2名を含む)が集い、

今年もひまわり畑に地元の小学生81名を招き社会を明るくする運動の屋外イベントが開催されました。今回も地元ブルーベリー農家のご協力で畑の一面を貸していただき、そこに約3万2千本のひまわりが育ち、社明の実行委員の皆で迷路を作りました。今年5月11日に種を蒔いてからちょうど2カ月が経過したものの、ひまわりは一分咲きではありませんでしたが、真夏日の中、子どもたちは元気にひまわり迷路を駆け回り、ブルーベリー狩りも楽しんでくれました。

(林 博行)

ぶんくろピックス

武蔵野分区

更生保護サポートセンター

きたたま東（以下サポートセンター）

サポートセンターは保護司会の公的施設などにおいて地域の関係機関・団体と連携しながら更生保護活動を行う拠点として設置されました。事務所は、原則として会長市におかれ本年度から武蔵野市に配置されています。サポートセンターは各分区から選ばれた企画調整保護司が週2日事務運営に携わっており、保護司会の役員会、部会の打ち合せなどに活用されています。今後のサポートセンターが、どのような機能を備え、具体的にどういったことをやっていくか、ニーズに合ったサポートセンターを作っていくための検討が行われています。（立川八重子）



三鷹分区

三鷹分区管外日帰り研修

6月21日（水）

千葉刑務所への日帰り研修を行いました。



千葉刑務所は、明治6年7月に寒川未決監・既決監として設置され、明治40年4月に現在地に新営移転し、大正11年10月に千葉刑務所に改称されたということです。驚いたのはJR千葉駅よりわずか20分足らずで到着し、住宅街の中にあるということです。この場所に千葉刑務所ができた当時は周りには民家が一軒もなく荒涼とした土地だったそうです。千葉刑務所の正門は1907年に竣工した現存するレンガ造りの立派な構えでした。

千葉刑務所は刑期が長期になる受刑者が多く、三分の一が高齢者であるというところで、社会復帰することの難しさを知らされました。

（森屋 正）

小金井分区

令和5年度管内視察研修

6月28日（水）昭

島市の東日本少年矯正医療・教育センターを視察しました。6ヶ所の行政機関を移転・集約して平成31年に設立された少年院です。



昨年度末からの新任としての参加でしたが、施設内は清潔感あふれる最新鋭の建物で、「少年院」のイメージが完全に覆るものでした。

木工・陶芸作品等の制作を通じ在院者の心を育むシステムが様々な工夫で行われていることを目の当たりにし、それぞれの完成度は、在院者の心を表しているはずと親御さんの気持ちに少し寄り添えたように思います。

また、ご担当者の説明からも、収容期間内において心の傷の深さを矯正・教育することは容易なことではないと感じました。

今回少年院という日本の「立ち直り」取り組みの一端に触れる機会に心から感謝し、微力ながら更生保護活動の役に立ちたいと、保護司としての責務に思いを新たにしました。（小野留美子）

国分寺分区

ひまわりコンサート

8月6日（日）に市立いずみホール

でひまわりコンサートが開催されました。このコンサートは2004年に中学生に参加してもらったのが始まりで、現在は夏と冬の年2回開催しています。今回は国分寺市民生委員・児童委員協議会合唱団・リヤンと国分寺市公共吹奏楽団の2団体が出演し、素敵な歌声の合唱と吹奏楽の演奏がありました。また、推進委員会から来場者に国分寺での社明の取組みの紹介、北多摩東BBS会から活動報告を行いました。次回は12月2日（土）の午後13時から大人の部を開催予定です。ぜひご来場ください。（田中 博）



北多摩東BBS会

社会を明るくする運動

犯罪や非行のない安全で安心な暮らしを築くための全国的な運動

- ・北多摩東BBS会と連携した街頭活動
- ・ひまわりコンサート
- ・ひまわり運動
- ・駅前広場活動
- など

更生保護女性会活動報告

更生保護女性会

会長 高木 和子



令和5年度より「日本更生保護女性連盟」は、任意団体から社会的にも責任ある団体

「一般社団法人・日本更生保護女性連盟」となりました。これを機にして、変化している社会の状況による課題をより知ることが大切になってきていると感じています。

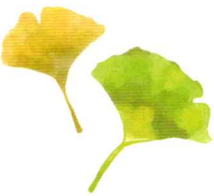
本年度、再開されつつある行事や会合、更女の活動が始まり、4月26日北多摩東地区保護司会総会、5月30日東京更生保護女性連盟総会、6月6日北多摩東桐友会総会、6月9日第7ブロック総会に出席し、6月27日には、更生保護女性会新会員研修も開催されました。集うことの大切さを感じました。

当会の総会は、5月11日に武蔵野プレイスにて開催し、79名が出席しました。ご来賓の小金井市長白井様、三鷹市長河村様、東京保護観察所立川支部統括保護観察官小嶋様、北多摩東地区保護司会会長望月様より、ご祝辞を賜り、各市保護司会分区長様にご臨席くださいました。

また国分寺市長井澤様、武蔵野市長松下様、東京更生保護女性連盟会長矢野様からはメッセージを頂戴しました。皆様のお言葉に、目指す方向が同じであることを感じ、当会へのご支援・ご協力を心強く感じました。総会は、提案の全ての議事が承認され、その後は落語家吉原朝馬様の落語を楽しみ、無事終了いたしました。

7月1日・3日には、三鷹駅と武蔵小金井駅で社明駅頭広報活動に参加し、中学生の真摯な協力の姿に感心し、声掛けに領き受け取る人や、どんな活動かと問いかけてくる人など、総じて快く受け取る方が多く、社会を明るくする—という言葉に、今の世相に何か思うところがあ

るのではないかと感じました。今後、当会の管外研修ほか分区に於いては、社会を明るくする運動に伴うひまわり畑作りから迷路とコンサートの開催、子ども映画会、地区のお祭りに参加しての広報活動が控えており、各分区毎の研修会や後援会など計画しております。



桐友会だより



令和5年6月6日武蔵野市本町コミュニケーションセンターにおいて、令和5年度北多摩東桐友会総会が開催されました。

当日はご来賓として本年度就任されました、北多摩東保護司会会長望月加奈子様、副会長(分区長)須藤正敏様、和地誠一様、副会長代理立川八重子様、田中勉様、同地区更生保護女性会会長高木和子様がご出席され、ご祝詞をいただきました。会員は37名中15名の出席でした。

議事内容は令和4年度事業報告、収支決算報告、令和5年度事業計画案、予算案等を審議可決し、本年は役員改選により世話人を新たに選出いたしました。

世話人

- 小美濃晃子(武蔵野)
小林 悦子(三鷹)
本木 治子(小金井)
森田 忠男(国分寺)

会長

本木 治子



長年東京桐友会理事・北多摩東桐友会会長・武蔵野分区世話人として桐友会発足以来6期12年間ご尽力いただきました、山代法道様には本年も東京桐友会理事として再度お世話いただきことになりました。

この度、世話人として退任されました二瓶洋子様(国分寺)、片野理代様(三鷹)に心から感謝申し上げます。

北多摩東桐友会の会長を本木治子様が務めさせていただくことになりました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

今年度も北多摩東地区保護司会と連携し会員の親睦を図り、諸行事に参加活動できますことを祈っております。

御挨拶

山代 法道

本年度の総会にて会長職を退任いたしました。会設立当初から、長年にわたりお世話になり、無事任務を果たすことができました。厚くお礼申し上げます。

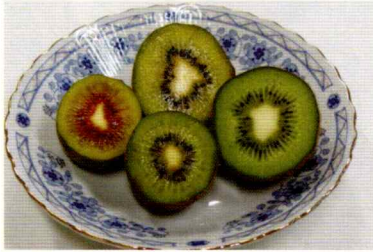
本会のますますの充実、発展と皆様のご健勝、ご多幸を祈念して退任のご挨拶いたします。

年二回発行 昭和四十八年十月一日創刊

令和五年九月一日発行

三鷹市：キウイフルーツ

三鷹市でキウイフルーツを生産し始めたのは昭和 53 (1978) 年で、現在では三鷹市の特産品として定着しています。市内のキウイフルーツ農家の多くは、緑色の果肉の「ヘイワード」と呼ばれる品種を栽培しています。そのほか、黄色い果肉の「東京ゴールド」や、芯の周りの果肉が赤い「紅妃(こうひ)」なども栽培されています。



武蔵野市：唐辛子

武蔵野市の特産品の一つに、唐辛子があります。武蔵野市の唐辛子は、品質が非常に高く、全国的に注目を集めています。甘味成分が豊富で鮮やかな赤色をしており、一度食べたらやみつきになります。この唐辛子は、乾燥させて唐辛子粉にしたり、漬け込んだりすることもできます。ぜひ一度味わってみてください。



大地の恵み

国分寺市：^{つかさ}司シルエット(イロハモミジ)



司シルエットは自然交配により生まれたイロハモミジ系のモミジです。国分寺市北町の植木農家により育成され、2011年2月に農林水産省の知的財産権として品種登録。一般的なモミジのように枝が横に広がらず、細い枝がスッと縦に伸びた立ち性の特徴。秋には葉が赤くなり紅葉を楽しむこともできます。場所を取らないため街路樹や庭木に向いており、都の街路樹モデル園の指定樹種にも選ばれました。

【2012年3月～2023年3月 国分寺ブランド第1号認定品】



小金井市：名勝 小金井桜

名勝小金井桜の起源は元文2年(1737年)江戸幕府の新田開発の一環として玉川上水の両岸に植樹されたヤマザクラの並木です。

明治時代、植物学者の三好博士の研究により、玉川上水堤の小金井桜のヤマザクラ並木は天然変種の一大集積地であることが明らかになりました。大正13年(1924年)に名勝として指定され、来年100周年を迎えます。

写真提供：小金井市観光まちおこし協会

退任保護司

永い間お疲れ様でした。今後益々お元気で活躍ください。さいますよう祈念申し上げます。

松田多恵子氏(武蔵野分区)
令和5年5月14日(在職20年)

新任保護司

左記の方が委嘱されました。今後のご活躍を期待いたします。


(国分寺分区)
上柳 佳子氏
5月15日発令

弔意

永年にわたり更生保護活動にご尽力された、国分寺分区保護司の緑川様が逝去されました。生前のご功績をしのび、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

国分寺分区保護司 緑川 道夫氏
令和5年7月12日逝去
享年74歳

新広報部員紹介

- 部長 山本 雄一(小金井)
- 副部長 長谷部豊子(国分寺)
- 会計・幹事 加藤真由美(小金井)
- 幹事 大久保良子(武蔵野)
- 幹事 和田 俊彦(三鷹)
- 幹事 二瓶比呂子(国分寺)
- 幹事 中川 知子(武蔵野)
- 幹事 岩井 昭治(武蔵野)
- 日向 博(三鷹)
- 鎌田 広美(三鷹)
- 信山 勝由(小金井)
- 宅島 孝喜(小金井)
- 本多 勇(国分寺)

編集後記

今回も無事に138号を発行することができました。作成にあたり多くのご協力をいただき感謝申し上げます。コロナの感染者が報告されて以来、今年5月に感染症法上5類に至る今日まで、さまざまな制約の中でも保護司会活動等は可能な限り行われてきました。活動もようやく活気を取り戻し始め、各地区等の状況をお伝えできることを広報部員一同とても嬉しく思っております。皆様方のお力添えをいただきながらわかりやすい内容や魅力ある紙面づくりに取り組んでまいりますので、今後ともよろしく願います。

(広報部一同)

発行者 編集人

北多摩東地区保護司会
山本 雄一 電話〇九〇(二六〇七)〇二七一